

塩尻市自然博物館紀要 資料・研究報告総目次

No.	(年)	題 名
第1号	1998	1.博物館内展示物目録・データ
第2号	1999	1.信州の植物フェノロジーの研究Ⅰ(ナギナタコウジュの開花と標高について) 2.庭先の科学(石垣付近にカタツムリの殻はなぜ多い?) 3.クワガタムシに寄せて 4.ハムシ科 Chrysomelidae 6種の生活史と成長 5.塩尻市におけるヒメギフチョウ産卵数年次調査
第3号	2000	1.カビの話 2.八ヶ岳におけるミヤマシロチョウの減少とその要因 3.長野県中信・南信地域でのツマグロヒョウモンの最近における動態について 4.ニホンマメシジミ <i>Pisidium nipponense</i> の生態的知見
第4号	2001	1.チョウと環境 2.安曇野の里山にみる植物3種の現況 3.Attached Diatoms from Alewa Heights Spring in the south of Oahu Island,Hawaii. 4.夏期におけるコクワガタ体表上でのダニ個体群の個体数変化とその要因について 5.塩尻のチョウの生態を探る活動をして育ってきた子供達の自然を見つめる目

第5号	2002	<ul style="list-style-type: none"> 1.日本ミツバチの話 2.上高地の帰化植物 3.準絶滅危惧種オオナガレトビケラ <i>Himalopsyche japonica</i> Morton の生態と長野県内における分布状況 4.長野県における晩秋から初冬にかけてのアゲハの終齢幼虫・前蛹・蛹化・蛹の観察記録 5.長野県内におけるブタクサハムシ <i>Ophraella communa</i> Lesage に関する知見 6.長野県の山地から高山帯での蝶類調査記録(高ボッチ高原から鉢伏山)
第6号	2003	<ul style="list-style-type: none"> 1.ヒトに寄生する外部寄生虫 2.高山植物の温度適応形態 3.長野県の山地から高山帯での蝶類調査記録(木曾駒ヶ岳と周辺町村) 4.カワネズミ <i>Chimarrogale platycephala</i> の天竜川支流二河川における分布状況 5.塩尻市東山地域におけるニホンジカの生息状況 6.自然保護とボランティア活動
第7号	2004	<ul style="list-style-type: none"> 1.廊下と運動 2.塩尻市で観察されたマンサク <i>Hamamelis japonica</i> Sieb.et Zucc. の葉枯れ被害 3.長野県内におけるメダカ <i>Oryzias latipes</i> Temminck et Schlegel の野外生態 4.止水域ダム湖におけるカジカガエル <i>Buergeria buergeri</i> Temminck et Schlegel の繁殖について 5.ドロノキハムシ <i>Chrysomela populi</i> Linnaeus の生活史 6.塩尻市内におけるニホンジカ <i>Cervus nippon</i> Temminck の生息状況

第8号	2005	<ol style="list-style-type: none"> 1.なんと素晴らしい昆虫たち 2.大分県金鱗湖の付着珪藻類 3.カタオカヤマツツジ <i>Rhododendron kaempferi</i> f. <i>petaloidocalyx</i> munst Y.Matsuda について 4.親海湿原の湿原植生復元への試み 5.エノキハムシ <i>Pyrrhalta tibialis</i> Baly の生活史 6.塩尻市におけるヘビトンボ卵孵化率とヘビトンボ卵寄生蜂寄生率の関係 7.小哺乳類の消化管内の食物分析による食性の研究 8.奈良井川における多自然型川づくりの現状と課題
第9号	2006	<ol style="list-style-type: none"> 1.口と歯の進化(魚からヒトまで) 2.蓼科前掛山の縞枯れについて 3.三宅島の噴火とスズメへの影響 4.外来種フロリダマミズヨコエビの千曲川への侵入と分布の状況 5.松本平における外来種フロリダマミズヨコエビの侵入確認と分布の状況 6.藪原(長野県木祖村)がタイプ産地であるオビカゲロウの分布と生態

第10号	2007	<ol style="list-style-type: none"> 1.最近話題になっている外来種 2.長野県産絶滅危惧種アズミトリカブトの自然雑種形成 3.塩尻市田川の底生動物相(塩尻西小5年生の総合学習での取り組み) 4.塩尻市内における源流棲水生昆虫3種の分布 5.外来種フロリダマミズヤコエビの塩尻市内への侵入および長野県内での分布の状況 6.上田市天然記念物マダラヤンマ調査報告 7.ゲンジボタル <i>Luciola cruciata</i> Motschulsky の胚子発生
第11号	2008	<ol style="list-style-type: none"> 1.信州のブナ林 2.南アルプスに産するシダ植物5種の分布 3.松本市内のビオトープ池で確認されたイカリムシについて 4.上田市天然記念物マダラヤンマ生態調査 5.野外におけるマダラヤンマの羽化 6.上田市狐塚沢ゲンジボタル生息地の自然環境調査 7.長野県中部地方におけるスナヤツメの生息環境

第12号	2009	<ol style="list-style-type: none"> 1.水生昆虫が語る川・湖の水環境 2.中信地域のスミレ属の分布について 3.上田市天然記念物マダラヤンマ調査報告 4.浅間温泉にホタルが飛び交う里づくり 5.松本盆地・伊那盆地におけるトノサマガエル種群の分布および種間交雑の可能性について 6.ボルネオ島のエコツアーに参加して
第13号	2010	<ol style="list-style-type: none"> 1.バイオ燃料と地域づくり 2.松本平の外来植物 3.長野県産の外来ザリガニ類の種名と由来 4.クモの話(長野県のクモ類を中心に) 5.ホタル学習と自然教育 6.ジンガサハムシ <i>Aspidomorpha indica</i> Boheman の生活史 7.オーストリア・ヴェルフェンヴェング村を訪ねて

第14号	2011	<ol style="list-style-type: none"> 1.ヤマネの不思議に迫る 2.ホテイヤツモリソウの自生復活を目指して 3.信州の植物フェノロジーの研究(No.21 ガマズミのフェノロジー) 4.クロマダラカメノコハムシ <i>Glyphocassis spilota</i> Gorham の生活史 5.松本平の陸産貝類8種の分布について 6.松本市田川で確認された淡水魚類 7.携帯電話のカメラ機能を利用した市民参加型・生物調査の試み
第15号	2014	<ol style="list-style-type: none"> 1.希少種はいま(中信地方の取材現場から) 2.上高地地域における外来植物の分布と集中性の解析 3.2013年上高地(大正池～明神池～横尾)のシダ植物
第16号	2016	<ol style="list-style-type: none"> 1.松本盆地における外来魚ブラウントラウトの生息状況 2.高ボッチ山の草原について 3.上高地のオトメエンゴサク
第17号	2018	<ol style="list-style-type: none"> 1.フェロモントラップによるアメリカシロヒトリの発生消長と防除効果 2.日本列島に分布するケショウヤナギ個体群の酵素多型と集団の遺伝型組成 3.塩尻市小坂田公園におけるシンジュキノカワガ、ツキワクチバの採取集記録 4.塩尻市小坂田公園におけるクロモンシタバ、ウスバツバメの採集記録 5.松本平におけるラリーカミキリ、オオキンカメムシの採集記録 6.塩尻市小坂田公園におけるマツヘリカメムシの採集記録

第18号	2020	<ul style="list-style-type: none"> 1.美ヶ原高原におけるアサギマダラのマーキング調査 2.長野県松本地域で観察されたサケ科仔稚魚の形態的特徴 3.松本盆地西縁の扇状地帯におけるヤナギ科植物の分布
第19号	2022	<ul style="list-style-type: none"> 1.塩尻市小坂田公園及び高ボッチの昆虫1 2.長野県松本平における外来魚ブラウントラウトの繁殖実態 3.梓川波田地区におけるケショウヤナギ・コゴメヤナギ混生群落の構造と他の木本植物と
第20号	2024	<ul style="list-style-type: none"> 1.環境DNA解析から明らかとなった上高地のニホンザル集団の魚食行動 2.長野県に生息するシマドジョウ類の形態および遺伝的特徴 3.塩尻市の昆虫2